

本校の特色は、個に応じたきめ細やかな指導で、学力アップを図ると同時に、自然豊かな環境を生かした体験活動等による子どもの感性と思いやりの心を育みます。



いちき串木野市立川上小学校 特認校生募集について



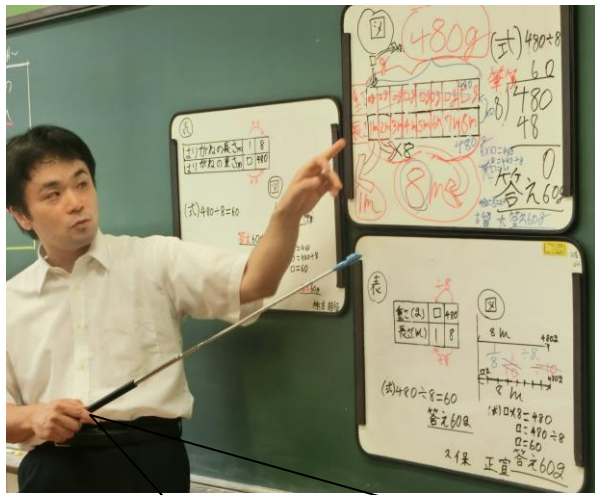
「1年生算数科板書」



「2年生算数科板書」

1 Plan 計画

複式の授業では、上記写真のように1年生と2年生の算数科を同時に進めていきます。当然教師には高い授業力が要求されます。そこで、本校では「板書計画」の充実に力を入れています。板書計画を充実させるということは、2学年分の子どもたちの思考の流れ、思考の手がかり、授業の山場等を事前にシミュレーションしておくことです。本校職員にとって授業は、「段取り八分」の世界です。

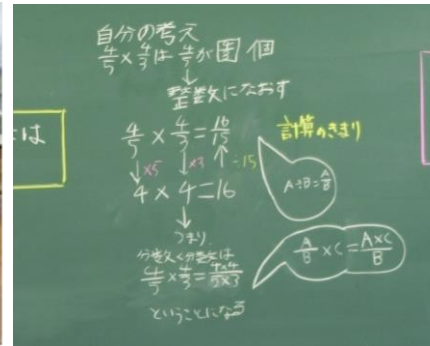


2 Do 実施

子どもは自分の考えをホワイトボードを用いて分かりやすく説明します。子どもの発表に対して、「なぜそえるんですか。」「その表にあと少し付け加えると誰もが納得する表になりますね。どうすればいいですか。」など、教師の問い返しにより、子どもたちの思考をゆさぶり、説明力の向上につなげ、確実な定着に結びつけます。本校が特に大切にしている取組の一つです。



「今日のまとめの様子」



「算数科の授業で使った板書」

3 Check 評価

「今日身に付けるべき学習内容は、確実に付いた状態で下校させましょう。そして、家庭学習での取組につなげていきましょう。」という思いで、帰りの会の前に「今日のまとめ～復習タイム（10分）～」を設けています。授業中だけでなく、この時間も個別指導が徹底されます。算数の時間で使用した小黒板等を消さずに保管しておき、もう一度できるか確認し、復習させます。



4 Action 改善

毎週水曜日の朝の時間を使って、子ども一人一人に対して、各職員が付き添い（全職員対応）、教科書の音読を評価し、励ましの言葉を掛けるようにしています。家庭における毎日の音読練習の成果を発揮する場として、毎週水曜日に川上ヨメルンジャーを位置づけています。また、学校図書館では、校内ビブリオバトル大会、『お話カンガルー』による毎月の読み聞かせなど、子どもたちの読解力を支える読書への興味・関心を高める様々な手立てをとっており、本校自慢の図書館です。



本校自慢の図書館です！



【全校ビブリオバトルの実施】（読書が苦手な子供にも興味関心をもたせるコーナー設置）



【6月10日は「時の記念日」です】【このハウスの中で読んでいる子どもも】

学力向上を支えるのは健康づくり

「自分の体の主人公になろう」をテーマに保健指導の充実を図っています。歯磨き指導、給食中の栄養指導など様々な機会を捉えて、自分の体についてじっくり考えさせています。



「朝の保健指導 小便って？」

Health 健康

腎臓検診の前には、検尿の目的や体の働きを朝の業間を使って指導します。「腎臓はここにあるんだよ。」と養護教諭オリジナル人体模型Tシャツで具体的に教えます。「小便はね、体からの小さな便りなんだよ。毎朝しっかり自分でチェックするんだよ。」という説明に、子どもたちは納得顔です。

子どもが変わります！



特認校生保護者の声

特認校制度Q&A

English 英語

本校では、授業のほかにも、少しでも英語にふれる機会を増やそうと、朝の登校指導で、英語を使ってあいさつをしたり、活動の始まりの放送を子どもたちが英語で放送したりしています。情報化・国際化が進む中、経済や環境問題等グローバルな視点でものを考えられる人が求められている昨今です。主体的に他人とコミュニケーションがとれ、共働できる力を身に付けることがますます大事になっています。地域の小規模校としてのよさや思いやりの心、国語や読書指導の充実など、これまで取り組んできたことを大事にしながら、世界共通語である英語にも力を入れ、英語も好きな子どもの育成をめざしています。



Experience 体験

本校では、自然豊かな川上の環境を生かし、地域の高齢者クラブの協力をいただきながら、米作り等の一連の農業体験学習を行っています。また、大根やトウモロコシなどの栽培活動を通じて、収穫することの喜び、食に関する意識の向上を図っています。このような体験活動を重視し、子どもたちの豊かな心と感性を育ていけるようにします。

Q1 どうして川上小に通わせようと思ったのですか。

- ・自然豊かな環境で、先生方の目の行き届いた中で、いろいろなことを体験したり、学んだりすることができるから。
- ・子どもが学校生活に息苦しさを感じていたこともあり、川上小での自然体験などを通じて心と体を成長させて欲しいと思い、川上小に通わせることにしました。体験キャンプで先生方や地域の方々のよさを感じることができたことも決めての一つです。
- ・小規模校の特性を生かした教育活動を通して、学楽しさを体験し、一人一人のよさを伸ばし、表現力を身に付けさせたいことから。また、異学年間の縦の交流により兄弟姉妹のような友達関係を築くことができるから（一人っ子のため）。

Q2 川上小にお子さんを通わせて「よかった」と思うことや「子どもが変わった」ということを教えてください。

- ・すぐに誰とでも仲良くできる。
- ・野菜を植え育てているため、育てた野菜を好んで食べるようになった。
- ・不安から落ち着きがなくなり、下の兄弟に八つ当たりすることもあったのですが、川上小に通い始めて少し落ち着きが出てきたように感じます。学校生活も充実しているようで、家でも何があったのか話をしてくれるようになりました。上級生のお兄さんお姉さんを見習ってか、下の弟や妹にも優しくなりました。
- ・学力、体力ともに挑戦することができ、様々な体験活動をすることもできてありがたいなあと思います。望んで転学していますので、不便さを感じたことはありませんし、小規模校のデメリットとして一般的にあげられる点も感じていません。

Q. 送り迎えが大変じゃないですか？

A. 川上小の特認生は、市の借り上げタクシーによる送迎となります。費用は必要ありません。

Q. 児童クラブはありますか。

A. 川上小には放課後子供教室（全児童対象）があります。地域の方と保護者で子供たちの宿題等を見ています。

Q. 茶園事業やPTA活動が大変ですか？

A. 70年前から続く茶園活動のおかげで、PTA会費はとっていません。活動は川上コミュニティーが中心になって運営されており、茶摘み等を含めて年に4回程度です。PTA活動も無理のない範囲で出席していただければ結構です。

Q. 一度特認生で入ると卒業まで？

A. 特認校制度は1年更新です。1年経ったら、また元の学校に戻ることもできます。

Q. 兄弟（2人）がいる場合、2人とも特認生で川上小に入らなくていけない？

A. 1人でも大丈夫です。その場合、2つの学校でPTA活動を実施することになりますので、無理のない範囲で参加していただければ結構です。学校が相談に応じます。

Q. 標準服など新規購入で経費が必要なのでは？

A. 以前の学校の標準服や体育服等がそのまま使えます。また、算数セット、習字道具、家庭科裁縫セットなどは学校備品として子供の人数分置いています。購入物は比較的少ないです。

Q. 興味があります。学校を見に行きたいです。

A. まずは学校へご連絡ください。子供たちが活動している時間を中心に学校参観をしていただくと様子が詳しくわかります。体験入学を希望の際は、川上小（教頭）まで連絡してください。

川上小 ☎ (0996) 36-2044